

★ ボランティアあち

【組内回覧】

第258号 令和5年(2023)11月20日

発行者 社会福祉法人 阿智村社会福祉協議会

TEL 45-1234 FAX 43-2223

ホームページ <http://www.achi-syakyo.or.jp/> こちらからもアクセスできます→



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございます



10月～12月の間、全国一斉に『赤い羽根の共同募金運動』が行われており、阿智村でも10月末より戸別募金をお願いしているところです。この赤い羽根共同募金は県の共同募金委員会から社協へ還元され、村内のボランティアグループ・福祉団体が行う各事業への助成に役立てられています。

使いみちは、赤い羽根データベースはねっとからも確認できます。



阿智祭では、11月5日にイベント募金を行いました。多くの皆さまのご協力により、当日の募金は**13,975円**になりました。心より感謝申し上げます。

会場には、共同募金マスコットキャラクター“あいちゃん”も登場し、子どもたちに好評でした。また、募金していただいた方に羽根を貼っていただく企画も、皆様のおかげで枯れ木を満開にすることが出来ました♪

阿智村での募金運動は12月22日迄、残りわずかの期間となりましたが、戸別募金へのご協力をよろしく申し上げます。



阿智祭の展示もにぎやかでした！

阿智祭には、生きがい講座、社協のデイサービスセンター 第二幸寿苑・ひだまり・えんばな、特養阿智荘の利用者さんの作品を展示しました。どの作品も力作揃いで、会場を彩っていました。

今年は、コロナ禍で出来なかった出店やイベントも復活し、村内の福祉事業所の紹介やボランティア団体によるバザーなども行うことが出来ました。



「ボランティアあち」発行には、皆様からいただいた社協会費を使わせていただいております。



花桃会 秋の遠足へ行ってきました

10月31日に今年度2回目となる花桃会を開催しました。気持ちの良い青空のもと、村内各地から集まった31名の参加者が、秋の遠足を楽しめました♪

三和観光農園でのアップルパイ作りでは、同じテーブルになった参加者同士の交流も出来ました。小木曾製粉所では、慣れない注文方法に戸惑いながらも、かつ丼や蕎麦など自分の好きなものを選んでの昼食に大満足の様子でした。

花桃会は赤い羽根共同募金から助成をいただき、年3回開催しており、ひとり暮らしの高齢者の方が交流出来る貴重な場となっています。



災害ボランティアセンター体験学習会



11月11日(土)に中央公民館ホールにて開催した、災害ボランティアセンター体験学習会では、参加者に『被災地へ支援に来たボランティア』として、災害ボランティアセンターにおける一連の流れを体験していただき、災害ボランティアセンターの役割、ボランティアの心構えを知っていただきました。

後半は、長野県危機管理部危機管理防災課の職員2名を講師としてお招きし、**避難所運営ゲーム HUG(ハグ)**を体験しました。

避難所運営ゲーム HUG(ハグ)とは、避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

参加された方からは、とても有意義だったというお声が多く、『もっといろいろな方が参加して、地域の防災力を向上出来るといいな』という声もありました。

災害はいつどこで起きるか分かりません。今まで大丈夫だったからといって、この先も大丈夫とは限りません。決して他人事と思わず、関心を持つことが自分や家族を守ることに繋がります。今回の学習会が、災害について考えるきっかけになれば幸いです。

車いす・福祉車両の使い方講習

10月26日に、車いすの扱い方や福祉車両の操作方法を学び、体験していただくことを目的に、講習会を開催しました。

車いすのまま乗車することができる福祉車両は、操作方法が車によって若干異なりますが、一度覚えておくといざという時に役に立ちます。

阿智村社協では、歩行や外出が困難な方へ車いすや福祉車両(車いす移動軽自動車)を貸出しています。車いすは基本的に無料です。急な怪我など必要になった時にもぜひご利用ください。

